



マルカキカイ株式会社

第70期 中間報告書

平成27年12月1日 ▶ 平成28年5月31日

日本・米州・中国・ 東南アジアの4極体制 実を結べ 70周年



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、各種政策の効果による企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。その一方で、年初来の急激な円高による輸出企業の収益悪化や、雇用・所得環境の改善により底堅く推移してきた個人消費が、ここへ来て足踏み状態が続くなど、景気の本格的な回復には至りませんでした。

海外では、アメリカ経済の下振れ懸念、中国経済の成長鈍化、アジア新興国経済の失速等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

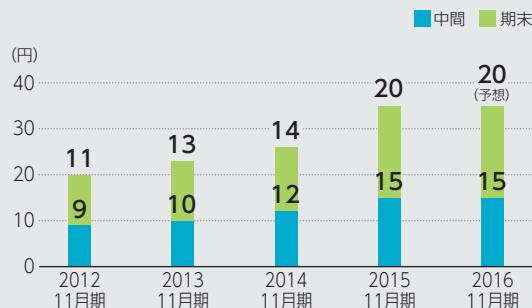
このような状況の中で、当社グループは、「日米中亜4極体制 実を結べ!! 70周年」をテーマに、中期経営計画の各種施策に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上

高は24,441百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は965百万円（同20.2%減）、経常利益は915百万円（同35.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は572百万円（同35.9%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

1株当たり配当実績および予想

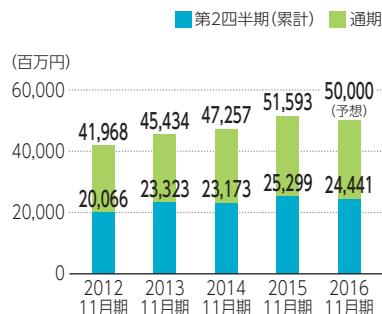


決算ハイライト (連結)

売上高

24,441百万円

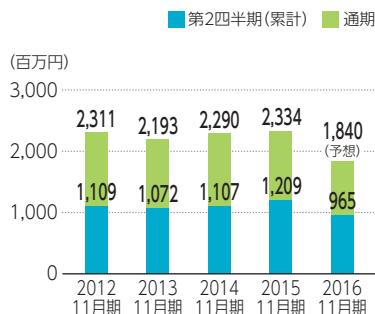
前年同期比 3.4%減



営業利益

965百万円

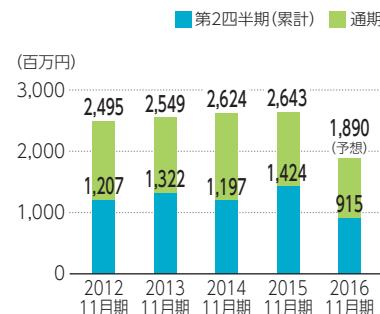
前年同期比 20.2%減



経常利益

915百万円

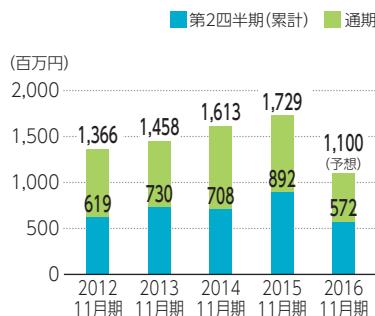
前年同期比 35.7%減



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

572百万円

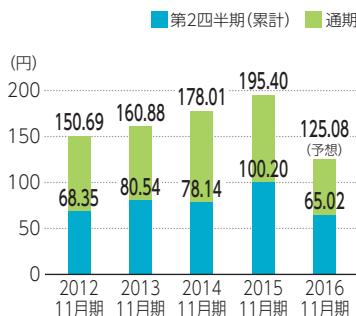
前年同期比 35.9%減



1株当たり四半期(当期)純利益

65.02円

前年同期比 35.1%減



部門別売上高



米州に12ヶ所の営業拠点を配置し、サービス体制を整備しています。

米州



マルカ・アメリカ

マルカ・アメリカの歴史は、1968年に北米での産業機械の営業拡大を目的に設立した現地法人 (Maruka Machinery Corporation of America) に遡ります。

現在は従業員約80名を擁し、自動車・航空機・医療関連の製造業を中心とした現地企業に、工作機械・射出成形機等の販売を行っています。

Industrial Tool, Inc. (ITI社)

ITI社は、機械設備の自動化を行うエンジニアリング会社で、2012年にマルカ・アメリカが全株式を取得し子会社化しましたので、マルカキカイの孫会社になります。

ITI社の自動車関連ユーザーに対する販売や、マルカ・アメリカの既存ユーザーに対する設備自動化の対応等、シナジー効果を発揮しています。

マルカ・メキシコ

マルカ・メキシコは、2012年設立の当社グループでは比較的新しい現地法人です。現在メキシコでは、自動車産業を中心に生産拠点の進出が進んでいます。アグアスカリエンテス州の本社に加え、2015年にケレタロ事務所を開設しました。2拠点体制により、日系企業のメキシコ進出をサポートしています。

日本

当社

射出成形機
ダイカスト機
工作機械
鍛圧機械



射出成形機



工作機械



鍛圧機械

米国・メキシコ市場

仕入

現地メーカー

工作機械

産業機械

仕入

マルカ・アメリカ

産業機械の販売

販売

ITI社

治具設計・製造
専用機・自動化装置

販売

マルカ・メキシコ

産業機械の販売

販売

米系企業

自動車

医療

航空機

エネルギー

日系企業・現地企業

自動車部品メーカー

産業機械部門

産業機械部門では、国内の自動車業界向け工作機械や鍛圧機械の販売が伸びました。米州は射出成形機の販売は堅調に推移しましたが、工作機械の販売は苦戦いたしました。中国およびアジア地域は、景気減速の影響等により企業の設備投資は依然として慎重な姿勢が続いており、自動車業界を中心として販売が伸び悩みました。



建設機械部門

建設機械部門では、国内の公共投資は緩やかに減少しているものの、民間の建設投資や東日本大震災の復興事業などの建設需要が堅調に推移いたしました。このような状況の中、レンタル業、土木・建築業を中心に建設用クレーンの販売が伸びました。



Topics

株式会社管製作所の株式を取得し子会社化いたしました

2016年4月1日付で、株式会社管製作所の株式を取得し、子会社化いたしました。

株式会社管製作所は、主に洗浄用機械を製造するメーカーで、当社の協力メーカー会であるMM会の設立メンバーであります。

子会社化により、今まで以上に、ものづくりユーザーへの多様な提案が可能となり、当社グループが推進する提案型営業に寄与することが期待できます。

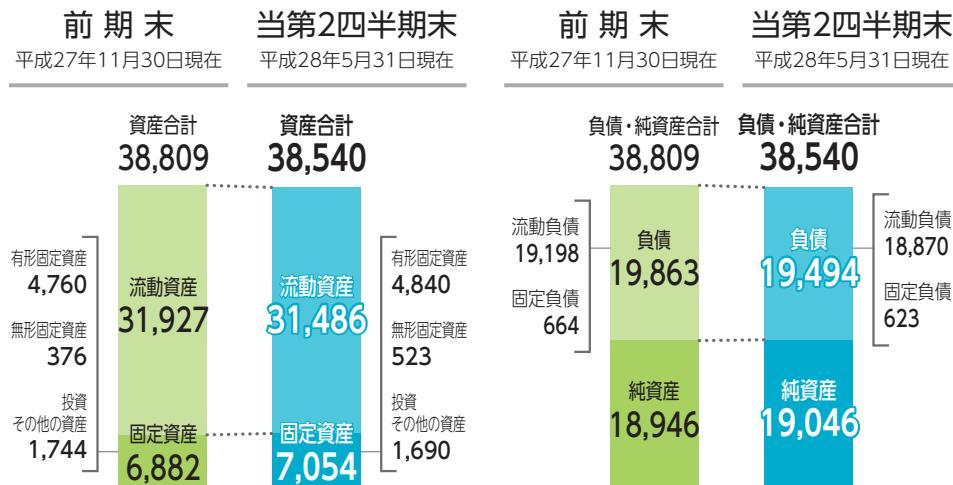
また、北米市場を視野に、マルカ・アメリカおよびITI社との協業により、エンジニアリング事業の基盤拡大を図るなど、シナジー効果を発揮してまいります。



商号	株式会社管製作所
所在地	山形県天童市清池東2-6-11
代表者	管 信良志
事業内容	CNC高圧洗浄機、専用工作機械、治工具の設計・製造・販売
資本金	98,120千円
設立年月	昭和57年8月
従業員数	54名

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表のポイント (単位：百万円)



Point

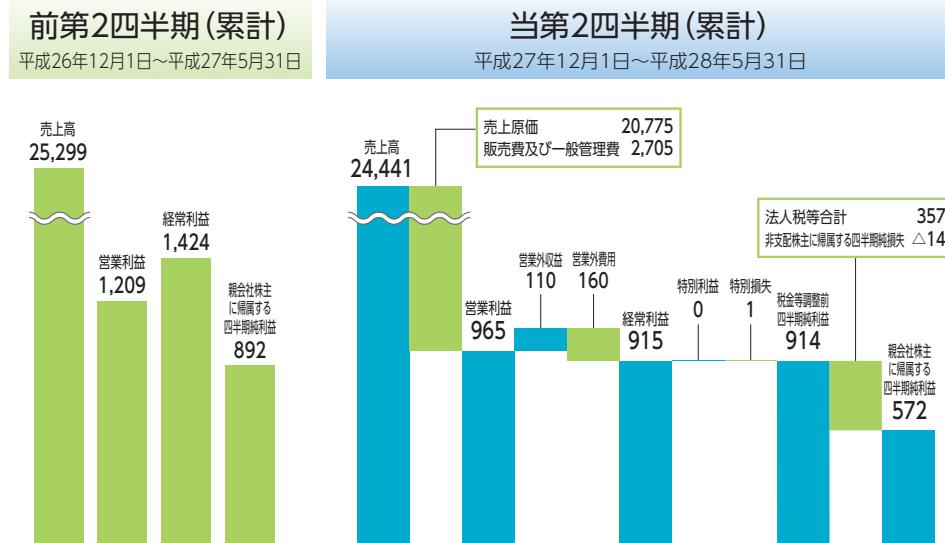
流動資産の状況

前期末比441百万円減少し、31,486百万円となりました。これは売掛金が2,301百万円、受取手形が244百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産の状況

前期末比172百万円増加し、7,054百万円となりました。これは株式会社管製作所の子会社化等により、無形固定資産が146百万円増加したこと等によるものです。

四半期連結損益計算書のポイント (単位：百万円)



Point

営業利益の状況

売上総利益の減少に加え、販売費及び一般管理費が前年同期比93百万円増加し、営業利益は前年同期比20.2%減少し965百万円となりました。

経常利益の状況

営業外収益が前年同期比138百万円減少し、営業外費用が前年同期比126百万円増加したため経常利益は前年同期比35.7%減少し915百万円となりました。

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 & 会社概要

株式の状況 (平成28年5月31日現在)

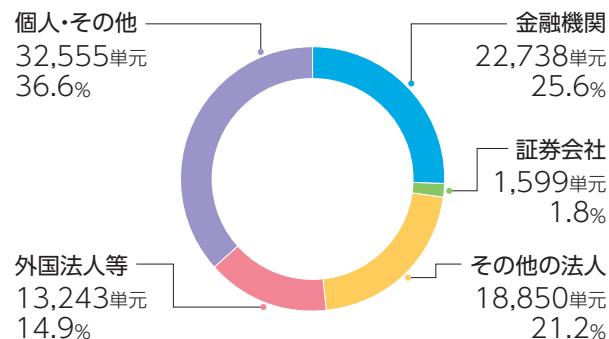
発行可能株式総数	33,600,000株
発行済株式の総数	9,327,700株
株主数	6,376名
単元株式数	100株

大株主(上位10名)の状況 (平成28年5月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
コベルコ建機株式会社	594,000	6.7
株式会社不二越	576,000	6.5
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	550,000	6.2
株式会社りそな銀行	350,000	3.9
株式会社みずほ銀行	328,000	3.7
HORIZON GROWTH FUND N.V.	309,100	3.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	255,000	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	250,900	2.8
マルカキカイ従業員持株会	237,555	2.7
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	210,500	2.4

(注) 持株比率は自己株式(426,823株)を控除して算出し、小数点以下第2位を四捨五入して計算しております。また、自己株式は上位10名から除いております。

所有者別株式分布状況 (平成28年5月31日現在)



会社概要 (平成28年5月31日現在)

商号	マルカキカイ株式会社 MARUKA MACHINERY CO.,LTD.
設立	昭和21年(1946年)12月16日
本社所在地	〒567-8520 大阪府茨木市五日市緑町2番28号 TEL.072-625-6551 FAX.072-625-6558 インターネットホームページ http://www.maruka.co.jp/
主な事業内容	機械専門商社として産業機械、 建設機械の国内販売および輸出入
資本金	14億1,441万円
従業員数	連結 562名、単独 188名

役員 (平成28年5月31日現在)

代表取締役会長	釜江 信次
代表取締役社長	竹下 敏章
常務取締役兼常務執行役員	二橋 春久
取締役兼執行役員	真鍋 聡久
取締役兼執行役員	難波 経久
取締役兼執行役員	飯田 邦彦
※ 取締役	泉 信介
※ 取締役	長崎 伸郎
※ 常勤監査役	杉浦 克典
※ 常勤監査役	有山 晃一
※ 監査役	古澤 哲太
※ 監査役	牛島 慶夫
執行役員	三好 辰夫
執行役員	砂河 利文
執行役員	荻野 純一
執行役員	黒澤 淳一
執行役員	神田 晃三
執行役員	谷口 徹

上記※は、社外取締役および社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
期末配当受領株主確定日	11月30日
中間配当受領株主確定日	5月31日
定時株主総会	2月
基準日	定時株主総会については 11月30日 (その他必要あるときは予め公告する一定の日。)
株主名簿管理人 (兼 特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (兼 特別口座の口座管理機関連絡先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
各種お問合せ	電話 0120-094-777 (通話料無料) ※証券会社等に口座をお持ちの株主さまのお手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお返戻郵便物、未払配当金等のお問合せについては、上記株主名簿管理人にお問合せください。 ※特別口座に記録された株式関係のお手續用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。 手續用紙請求電話 0120-244-479 (通話料無料) (本店証券代行部) 0120-684-479 (通話料無料) (大阪証券代行部) インターネット http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告方法	電子公告 (当社ホームページをご覧ください) http://www.maruka.co.jp/ なお、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部

株主優待 のご案内



100株以上500株未満保有の株主さま
1,000円相当のグルメセット



500株以上1,000株未満保有の株主さま
2,000円相当のグルメセット



1,000株以上保有の株主さま
3,000円相当のグルメギフト券

※写真は優待商品の一例です。



マルカキカイ 株式会社

<http://www.maruka.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。